

されど、 マイウエイ

PART.55



吹き抜ける風が風車を回し、子どもたちを笑顔にする。自由に「好きなこと」と向き合う人たちも…

自分の道を歩み始めた時から、敷かれたレールは意味をなさなくなる。同時に、茂みをかき分け、地面を踏み固め、壁を登り、固有の道をつけていかなければならない。当然苦勞はある。しかし、心は軽く、表情が明るくなる。好きなことと向き合う充実感は、何物にも代え難い。何より、風のように自由だ。

時には、風の吹くまま、気の向くまま、やりがいを持って進み続ける男女五人を取材した。「されど、マイウエイPART・55」